



2023年11月10日発行
認定NPO法人 盛岡YMCA
〒020-0021
盛岡市中央通 3-7-18
ラ・ベルヴィ中央 201
Tel 019-623-1575
Fax 019-623-1579
www.moriokaymca.org
発行人 / 濱塚 有史
編集 / 本部事務局

YMCA News

11



未来に向かって、YMCAの姿は？

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

16 平和と公正を
すべての人に

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

社会は、常に変化が起きています。それが大きなものでも、徐々に起きているので気づかないうちに進んでいきます。多くの人たちは、それを「様子見」しようとしています。しかし、いつの日か決断を迫られる日が来るでしょう。そうは言っても、いざとなるとなかなか決断ができないのが現実です。わたしのYMCAでの体験を振り返ると、大きな変化は、1970年代以降にアメリカで起き、日本でも1990年代に起きました。多くのYMCAがそれまでの事業の転換を迫られました。以降、徐々に変化しながら30年が過ぎていきました。

今、新たな変化の波を感じています。2018年に世界YMCAの175周年がロンドンで行われました。その折に、2044年のYMCA200周年の頃、「世界はどんな社会になっているのでしょうか？その時に、YMCAは必要とされているのでしょうか？」と問われました。今から20数年後の世界はどんな姿でしょうか。世界中から参加してきた多くの若者たちから反応がありました。地球の温暖化、気候変動が何をもちたしてくるか？ 移民、難民問題がさらに大きな変化をもたらしそうです。人口の高齢化、少子化で極端な人口減少が起きる地域が出てきます、一方で人口が増え続ける地域もあるでしょう。

そんな20年後は、想像もできない世界になっているでしょう。では今、YMCAがすべきことは何でしょうか？2040年代に社会で中心的な働きを期待される今の10代20代の若者に何が必要でしょうか？それは、問題解決能力やその意欲、チャレンジ精神、時代の変化に対応する勇気と決断、これが求められています。盛岡YMCAには多くの10代20代が何かを求めて来ています。YMCAができることは何でしょうか？

今、目の前にある現実を見ること。未来に変化していく傾向を察する事。他人ごとではなく、自分たちがどうなりたいか、そのために何が必要か？ そんなテーマを共に考え、行動していくようになれば、今後10年後、20年後の社会にあってYMCAは、ユースにとって欠かせない居場所、活動や意見の発信拠点になっているでしょう。新たな運動を次々と生み出す、そんな発信源になってほしいものです。

元アジア・太平洋YMCA同盟総主事
ワイズメンズクラブ国際協会東日本区理事
山田 公平



盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

盛岡YMCA創立40周年記念式典

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



10月8日(日)、マリオス18階会議室を会場に、「盛岡YMCA創立40周年記念式典」が開催されました。日本YMCA同盟関係者、東日本区YMCA総主事の方々、仙台YMCAの関係者をはじめ、東日本区ワイズメンズクラブの皆様など、これまで盛岡YMCAをお支えいただいた

の方々、並びにボランティアリーダーを含め100名近くの参加者のもと、盛岡YMCA創立40周年を共に祝いました。

記念講演では、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区理事の山田公平氏をお迎えし、「世界を見つめ地域に生きる」というテーマで、お話をいただきました。講演の中で、私は「エンパワーメント」という言葉にとっても感銘を受けました。「自分なんかか…」と考えずに、「自分にはできる!」という自己肯定感を持ち、今後は自分の能力を信じて何事にも挑戦していこうと思いました。

懇親会では、ボランティアリーダーが用意した、ゲームやアクティビティを通じて、参加者は楽しいひとときを過ごし、老若男女問わず交流することができました。さらに、盛岡YMCAの40年の歴史をスライドに映し見ながら振り返り、共に歩んできた思い出に浸りました。

40年の歴史を迎えることは、盛岡YMCAにとって、誇らしい瞬間であり、その瞬間にYMCAの職員として立ち会えたことは、とても嬉しいことだと思います。日頃より支えてくださっている方々に、多大なる感謝をいたしますと共に、50周年に向け、これからも盛岡YMCA発展のため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

盛岡YMCA職員 今野瑠風



国際協力募金のご案内

16 平和と公正を
すべての人に



YMCAの国際協力募金活動は、全国のYMCAで毎年実施しており、2022年度盛岡YMCAは、ウクライナ緊急支援(5月1日～8月31日)、日本YMCA同盟を通じた支援活動への支援(11月1日～2月28日)、2023年2月6日に発生したトルコ・シリア大地震の被災者支援(3月)、それぞれの支援のための募金活動を実施しました。多くの方にご協力とご支援を賜り、2022年度は655,337円の募金が盛岡YMCAに寄せられました。募金にご協力下さった皆様を始め、募金箱の設置、及びポスター掲示にご協力下さった地域の諸団体の皆様には心より感謝しております。

2023年度も引き続き、日本YMCA同盟を通じたウクライナ避難者支援、国外での災害被災地支援、難民支援、生活支援、教育支援、国内外のユース育成等を募金の使途とし、国際協力募金活動を行っています。宜しければ、YMCAからお送り(お渡し)する、国際協力募金のリーフレットをご覧ください、よりYMCAの国際協力募金、国際協力活動について触れて頂ければ幸いです。

2023年度の募金受入れ期間は2023年11月1日～2024年2月28日です。YMCAが目指す、かけがえのない一人ひとりのいのちが大切にされる「ポジティブネット」のある豊かな社会の創造のため、皆様の国際協力募金活動へのご理解とご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

盛岡YMCA 国際協力担当 小川嘉文



【10月活動報告】サンデースクール

4 質の高い教育を
みんなに



10月15日(日)YMCA向中野センターにて、10月サンデースクール「YMCAハロウィンパーティー」を子ども29名・リーダー15名で行いました。子どもたちは、お姫様や魔女などの様々な仮装をして集まり、リーダーもマリオやおばけの仮装をして、ハロウィンムード全開でスタートしました!



今回はお菓子の家づくりをメインに行いました!自分たちの好きなお菓子を絵に描いたり、ストローや綿を用いて工作したりする子や、家に窓やインターフォンをつける子など、自分の作りたいものを、様々な材料を使って工作しました。他にも、「ぼくはホラーハウスをつくりたい!」と意気込み、蜘蛛の巣やお化けなどを家に飾り付けている子もおり、それぞれのグループで協力し合い、個性あふれる“家”を作り上げていました!

その後、みんなで作ったお菓子の家を使って、「おかしなお菓子当てっこゲーム」を行いました!それぞれ自分たちの作った家の一部を隠し、他のグループが当てるといふゲームで、周りのグループがどんな家を作ったのか興味津々で観察し、互いの家の良さを感じ合っていました。

最後にゲームでおかしをゲットし、ハロウィンパーティーが終了しました!いつもと異なり、グループで1つの作品をつくりましたが、互いに協力し合う姿や、自分の作ったものを誇らしげにリーダーに見せる姿が多く見られ笑顔が絶えない最高の時間となりました!



岩手大学2年 佐野菜美
(ドビーリーダー)



【9月活動報告】ちきゅうと、あそぼう。

9月の野外活動では、9月24日(日)まほら岩手にて、魚のつかみ取り体験をしてきました。子ども26人、リーダー16人、スタッフ2人の計48人で活動してきました。盛岡駅を出発し、バス内で行ったプログラムでは、さかなポイントをかけ、列やグループで協力して歌やタイムアタックゲームで盛り上がり、まほら岩手に到着しました。

到着後、子どもたちは、くるぶしが浸かる程度の生簀で泳いでいる、たくさんの魚に興味津々な姿が見られました。いざ生簀に入ってみると、冷たい水や上手くつかめない魚に苦戦しながらも、周りの子どもたちの応援とともに、無事全員が魚をつかみ取ることが出来ました。

施設の方のご指導のもと、子どもたち自身で割り箸のみで魚の内蔵を取り除き、塩を振って串刺しにしました。魚が焼き上がるまでは、近くの広場で虫取りや鬼ごっこを楽しみました。待ちに待った昼食では、自分の名前が書かれた串を手に取り、自分の手でつかみ取りした魚を食べました。「おいしい!」という声がたくさん聞こえ、中には頭からしっぽまで完食する子もいました。

魚を食べた後は、フリータイムをしました。アスレチックや虫取りをして遊んだり、池で水遊びをして泥んこまみれになったりなど、自然の中で思い思いの時間を過ごしました。

野外活動で集まったみんなが、魚つかみを通してひとつになった瞬間がありました。そんな体験が、子どもたち一人ひとりの素敵な思い出になってくれたらいいと思います。

盛岡大学2年 青山優菜(エアリーダー)



【水泳】リーダートレーニング

10月14日、15日の2日間、『インプットとアウトプット』をテーマに、水泳リーダートレーニングが行われました。

1日目は、YMCA 盛南センターにて、それぞれの曜日のディレクターから、各級の説明を受け、その後、各リーダーが一からレッスンメニューを組み立てました。どんな遊びにしようか、どうしたら子どもたちと楽しみながら出来るだろうか、などと、いつも一緒に活動している子どもたちのことを考えながら試行錯誤しました。

2日目は、総合プールを会場に、1日目に考案したレッスンメニューを実践しました。実際に行ってみると、なかなか思う通りに出来なかったり、逆にここは上手く出来た!と自信になったり、自分には何が出来る何が足りないのか、自分の強みと弱みに気づくことが出来ました。また、子ども側として他のリーダーのメニューに参加し、子どもの気持ちになってメニューを視ることで、童心の重要性を改めて実感しました。



2日目の終わりには、各自レッスンメニューへの気づきを整理し、他のリーダーと意見を交換しました。自分のメニューに参加したリーダーからの意見を参考にして、子どもたちとより一層楽しめるよう、メニューを見直しました。

今回、インプットだけでなく、アウトプットも出来る場を設けてもらい、普段はなかなか気づくことの出来ない新たな自分を発見しました。今後はこの2日間を通して気づいた自分の強みを育て、弱みを上手く活かして活動に参加していきます。

岩手大学1年 竹知桃花(サンリーダー)



【サッカー】リーダートレーニング

こんにちは!最近、寒さに凍えて夏を待ち望んでいる、ロコモコです!!

10月21日(土)、盛岡体育館で行ったサッカーリーダートレーニングには、33名のリーダーが参加をしました!

今回のリーダートレーニングでは、2人組やチームで取り組む数々のメニューを通して、「まずは自分たちが楽しむこと、自分からアクションを起こすことの大切さ」を学びました。はじめに行われた手繋ぎ鬼ごっこでは、体を動かしながらいろんなリーダーとコミュニケーションを取ることができ、学年関係なく楽しく一緒に走り回りました!

その後に行われた2人組やチームでのパス回しでは、どうやったら上手く真っ直ぐ蹴ることができるのかという、サッカーとしての技術面はもちろん、どうやったら楽しむことができるのか、子どもの肯定感の向上を図ることができるのかということも考えながら、リーダー同士で試行錯誤を繰り返しました。

最後に行われた勝ち上がりのゲームでは、リーダー1人1人が仲間のナイスプレーと一緒に喜んだり、点が決まった時には全力で喜んだりなど、サッカーだからこそ味わうことができる楽しさを感じていました。

リーダートレーニング終了時には、年齢関係なく混ざり合い、一緒に笑ってキラキラしているリーダーたちの姿をみることができました!

今回のリトレでのたくさんの学びをこれからの活動に生かしていきたいと思います。

みなさんも全力で楽しんでいきましょう!

岩手県立大学1年 熊谷一夏(ロコモコリーダー)



ユースボランティアリーダーズフォーラム

東日本区内 YMCA のユースボランティアリーダーたちの宿泊費・食費・交通費など参加費用をワイズメンズクラブが支援し、YMCA スタッフが事務局を担う形で協働して実施しているトレーニングプログラムです。今、YMCA の活動は多様化しているため、その活動を支えるリーダーにも多様化が求められています。これまでの野外活動、ウェルネスなどの分野に加え、国際や福祉の分野でも活躍しているリーダーが集い、一緒に学ぶことが目的です。1987年からはじまり、今年で35回目。今年のフォーラムには、盛岡YMCAから2名のリーダーが参加してきました。

盛岡YMCAリーダー紹介⑬



おはみんご!みんごです。私は現在、岩手大学で小学校の教員を目指して教育について日々学んでいます。実は私はこうみえて数学を専門科目にしている理系女子なんです!かっこいいでしょー!私はもともと算数・数学はもちろん勉強することが大嫌いで全く勉強をしない・テストなんて50点以下があたりまえだと思っていた子どもでした。でも中学校3年生の受験期に勉強に初めて真剣に向き合っってこんなにテストって解けるんだ!とびっくりしたのを今でも覚えています。そんな私みたいな勉強嫌いの子どもに学ぶ楽しさを知ってもらいたい!という思いから小学校教員を目指し始めました。

私は主に土曜サッカーやサンデースクールに参加しています。子どもたちのパワフルな元気とキラキラした笑顔にいつも元気をもらっています。サッカーは盛岡YMCAで活動に参加するまで、手を使ってはいけないこと・ゴールにボールが入ると点が入ることしか知識がない完全初心者の状態から参加し始めました。そんな私でも、日々子どもたちに教えてもらいながら活動しています。盛岡YMCAでサッカースクールに参加してもうすぐで2年が経過します。まだまだ子どもたちには「下手!」と言われるんですが、残りの大学生活もあと2年!子どもたちに「上手くなったね!みんごやるじゃん!」と言われるくらい成長する気満々です!

教員を目指すから子どもに関わる活動を日常的にしたという理由から盛岡YMCAに参加し始めてあっという間に2年が経とうとしています。様々な個性あふれる子どもたちと関わり合いともに成長し、自分にはない自分の見せ方や子どもの引きつけ方・面白さを持つ大好きなリーダーたちから日々刺激をもらっています。あと約2年間新しいことにチャレンジしながらもっともっと成長していきます。これからも元気いっぱいみんごらしく突っ走って行きいます!

岩手大学教育学部理数教育コース2年
杉山希(みんご)

【11月】

プログラム名	開講日・開催日
木曜サッカースクール	2日 9日 16日 30日
金曜サッカースクール	10日 17日 24日
幼児サッカースクール	4日 11日 18日 25日
土曜小学生サッカースクール	4日 11日 18日 25日
月曜水泳教室	6日 13日 20日 27日
水曜水泳教室	1日 8日 15日 22日
木曜水泳教室	2日 9日 16日 30日
金曜水泳教室	10日 17日 24日
体育教室第一・第二	4日 11日 18日 25日
秋のサッカー大会	3日
ちきゅうと、あそぼう。	26日
サンデースクール	19日

【12月】

プログラム名	開講日・開催日
木曜サッカースクール	7日 14日 21日
金曜サッカースクール	1日 8日 15日 22日
幼児サッカースクール	2日 9日 16日 23日
土曜小学生サッカースクール	2日 9日 16日 23日
月曜水泳教室	4日 11日 18日
水曜水泳教室	6日 13日 20日
木曜水泳教室	7日 14日
金曜水泳教室	1日 8日 15日
体育教室第一・第二	2日 9日 16日 23日
ジュニアスキーキャンプ	12月26日~28日

表紙の写真から



井上修三常議員議長による乾杯の音頭の元、第3部の懇親会が始まりました。リーダーたちが準備したゲームで会場は大いに盛り上がりました。

(2023年度10月新規会員) 敬称略

●2023年度 維持会員

山田公平,大関靖二,滝川佐波子,佐藤翔

最新情報はこちらでチェックできます!「盛岡YMCA」で検索ください。



ホームページ



facebook



instagram